

ふくろう通信

独立行政法人
労働者健康安全機構

福島労災病院

- ◇病院理念
 - ・受ける人が主役の医療の実践
 - ・最善の医療・看護の提供
 - ・働く人の健康管理とリハビリテーションの実施
- ◇基本方針
 - ・痛みをかたの目線で公平な医療を行います
 - ・常に研鑽して高質な医療を安全かつ確実に提供し信頼される病院づくりに努めます
 - ・永年にわたる勤労者医療の実績を活かし働く方の健康維持と早期社会復帰に取り組みます



- ◎ 地域医療支援病院
- ◎ 地域がん診療連携拠点病院
- ◎ 病院機能評価認定病院
- ◎ 臨床研修指定病院

第28号 平成30年8月発行

気をつけよう、暑い季節の皮膚病



福島労災病院皮膚科（非常勤医師）

いわつき けいじ
岩月 啓氏

高温・多湿の時期を迎え、いろいろな皮膚病が発症し、皮膚科医の出番が多くなります。民間療法で皮膚病をこじらせてしまう前に、皮膚科にご相談ください。

1 とびひ（伝染性膿痂疹）とアトピー性皮膚炎

皮膚の引っ掻き傷や皮膚炎部位から細菌が侵入すると、俗称「とびひ」といわれる表在性皮膚感染症が起きます。特にアトピー性皮膚炎の子どもたちには高頻度にみられます。皮膚が薄くむけ、ジクジクした浸出液が増え、菌が出す毒素によって水疱（水疱型膿痂疹）が現れます。「とびひ」の原因となる細菌のうち、多くは黄色ブドウ球菌感染ですが、溶血性レンサ球菌感染が原因の「とびひ」の場合には、痂皮（かさぶた）が付着したり、熱をもった膿痂疹を伴う特徴があります。「とびひ」を効果的に治療するためには抗菌薬の投与を行いますが、原因となっている菌の違いにより、適切な抗菌薬を選ぶ必要があります。

また、黄色ブドウ球菌は、皮膚感染症を起こさないまでも、それが皮膚表層の角層に定着するだけでも、細菌毒素が皮膚のバリアを壊し、アトピー性皮膚炎を悪化させます。

～ 目 次 ～

- 気をつけよう、暑い季節の皮膚病 … P 1～2
- 人間ドックのご案内 … P 4
- 専門看護師・認定看護師紹介 … P 3

そして、皮膚バリア機能障害は、細菌の皮膚内への侵入を容易にして、「とびひ」などの感染症を引き起こしやすくなります。つまり、「とびひ」とアトピー性皮膚炎は相互に負の連鎖を起こします。治療する場合には、「とびひ」なのか、湿疹病変なのか、あるいはその両方なのかを鑑別して、治療を組み立てる必要があります。

黄色ブドウ球菌は、感染機会があれば何度でも繰り返します。つまり、自分の免疫力では皮膚感染や定着を抑えられません。では、どうやって黄色ブドウ球菌定着を抑えるのでしょうか。その答えは、皮膚炎治療とともに、適切なスキンケアによって、皮膚バリア機能を保つことです。皮膚表面に細菌が定着する場合には、バイオフィルムというシェルターに保護されているため、消毒薬は有効ではありません。明らかな細菌感染症状がある時は、抗菌薬の内服・外用を用います。皮膚炎症状を抑えることが優先されると考える場合には、ステロイド剤やタクロリムス軟膏を上手に使いながら、抗菌薬などは極力避けつつ、皮膚の黄色ブドウ球菌などの定着をコントロールします。黄色ブドウ球菌定着とアトピー性皮膚炎は相互に影響しながら夏に増悪しますので、民間療法に頼らず、診断と治療は皮膚科医にご相談ください。

2 水虫菌は爪にも頭にも、動物にも

白癬菌（水虫の原因）は、高温・多湿の環境を好み、皮膚の角層を栄養源にして発育する真菌で、趾間や足底に好んで寄生します。白癬菌にとって住みやすい環境が提供されると、菌は生き生きと成長し、長く菌糸を伸ばします。そのために、糸状菌と呼ばれることもあります。環境さえ整えば、白癬菌は股部、体幹、爪、毛髪（頭部）にも生育して病変を形成します。白癬菌は犬や猫などのペットにも寄生し、脱毛病変などを作ります。柔道、レスリング競技者間では、人から人へ感染する白癬菌が知られています。

水虫にはかゆい場合と、かゆくない場合があります。かゆい水虫は小水疱などを形成する炎症が強いタイプです。一方、かゆみのない水虫は角質増殖型の場合です。かゆい水虫では、白癬菌の菌体成分と人の血清成分が反応し、好中球（白血球のひとつ）が引き寄せられ、免疫反応によってリンパ球も集められます。白癬菌は、そのような炎症の中心を逃れるように、周辺へと移動していき、結果としてリング状の病変を形成するとされています。免疫が低下している場合には、この追い出し反応が弱いために、角質増殖型や異型白癬を生じ、場合によっては皮膚の深部に白癬菌が侵入することがあります。

水虫にもさまざまな皮膚病変がありますので自己判断で水虫薬を使うことは避けましょう。中途半端な治療は白癬菌の検出率を下げてしまいます。皮膚科できちんと真菌感染を証明した上で、適切な治療を受けましょう。

専門看護師、認定看護師紹介



がん化学療法看護認定看護師 小原みずき

～ 専門看護師、認定看護師って？～

専門看護師、認定看護師とは、高い技術と知識を持ち看護実践できる看護師のことです。

当院には、がん看護専門看護師と感染症看護専門看護師の2名の専門看護師と、がん性疼痛、緩和ケア認定看護師、皮膚排泄ケア認定看護師、感染管理認定看護師、がん化学療法看護認定看護師の8名の認定看護師が在籍し、看護の質向上を目的として活動しています。どんな活動を行っているのかご紹介していきます。

～ がんに関連した専門・認定看護師について～

当院は地域がん診療連携拠点病院のため、がんに関連した専門・認定看護師が6名在籍しています。がん医療において、がんと診断され、不安が増す中で、患者さんやご家族が治療を決断しなければならないだけでなく、ご家庭のこと、経済的なこと、仕事のことなど、さまざまな悩みを抱える場合があります。私たちは、わかりやすい言葉で医師からの病気の説明を補足したり、院内の専門職に紹介したり、がんと診断されたあとの患者さんやご家族の不安を軽減できるように努めています。誰に何を相談していいかわからないときも、患者さんやご家族をサポートさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

また、仕事を続けながら治療を継続するための支援として「治療」と「就労」の両立支援を行っています。両立支援コーディネーターの研修を受けたスタッフが患者さんやご家族のサポートにあたりますので、仕事に関する相談や心配事も随時対応させていただきます。

今後も地域の人々に信頼される医療を提供していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

次回の認定看護師紹介は皮膚排泄ケア認定看護師の予定です。



福島労災病院では、日帰り人間ドックを実施しています。

～生活習慣病やがんの早期発見にご利用ください～

脳卒中、動脈硬化症、高血圧、糖尿病やがんなどの生活習慣病の予防・早期発見や、ご自身の健康状態の把握のために人間ドック受診をお勧めします。

当院では、人間ドック検査当日に、医師が診察と内容説明を行います（詳細な結果票は各検査担当医師の判定を受けて2～3週間後に郵送します）。

また、人間ドック結果により、より詳しい検査や治療が必要な場合は当院外来にて引き続き対応することも可能です。お問い合わせ、お申し込みは、健康診断部
TEL0246-26-1111（内線 2131）までご連絡ください。

- 人間ドックは、毎週木曜日（時間は8時30分から12時）に実施しています。

- 標準検査項目：42,000円（税込）

問診、身体測定、尿検査、血液検査、便検査、胸部X線、肺機能検査、胃内視鏡、血圧、心電図、腹部超音波、視力・眼底・眼圧検査、簡易聴力検査、診察面談



- がんのマーカー検査：検査1項目につき3,150円（税込）

CEA（大腸がんなどや肺、卵巣、乳がんなど）、CA19-9（膵臓がん、胆道、胃、大腸がんなど）、AFP（肝がん、卵巣や精巣の胚細胞がん）、PSA（前立腺がん）

※詳しくは、病院ホームページ、院内にてお配りしております案内パンフレットをご覧ください。
※運動指導に参考となるインボディ検査等を実施します。詳細は、決定次第ご案内いたします。

独立行政法人労働者健康安全機構

福島労災病院

〒973-8403 福島県いわき市内郷綴町沼尻3

TEL 0246-26-1111 FAX0246-26-1322 URL <https://www.fukushimah.johas.go.jp>

発行人 渡辺 毅

ふくろう通信 第28号